

番 号 : 140533

国 名 : ケニア

担当部署 : ケニア事務所

案件名 : 第三国研修 陸域観測技術衛星 (ALOS : 和名だいち) を活用したアフリカ地域の地形図作成在外研修 (ALOSを使った地図作成指導)

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : ALOSを使った地図作成指導
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 専門家業務

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年8月上旬から2014年9月上旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.2M/M、現地 0.77M/M、合計 0.97M/M
- (3) 業務日数 :
 

準備期間	現地調査期間	整理期間
2日	23日	2日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 2014年7月23日 (12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送 (〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約 (単独型) 公示案件 (再公示含む) より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ (ホーム>JICA について>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約 (単独型) 簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」 ([http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))) をご覧ください。なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
    - ① 業務実施の基本方針 16点
    - ② 業務実施上のバックアップ体制等 4点
  - (2) 業務従事予定者の経験・能力等 :
    - ① 類似業務の経験 40点
    - ② 対象国又は同類似地域での業務経験 8点
    - ③ 語学力 16点
    - ④ その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	観測技術衛星に関する各種地図作成業務
対象国/類似地域	ケニア/全世界
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 :  
黄熱流行国であり、日本からの入国時にイエローカード提示は義務付けられていないが、赴

任前の予防接種を強く奨励します。

## 6. 業務の背景

地形図は国家開発政策を策定する上で有効なツールであるが、多くのアフリカ諸国では地形図作成及び既存図の維持管理が立ち遅れている。地形図作成には通常、航空写真が必要となるが、航空写真撮影は高額なため、財源不足のアフリカ諸国にとっては取得できないことが多い。

我が国が2006年に打ち上げた陸域観測技術衛星ALOS(和名:だいち)は、災害時の緊急観測をはじめ、地形図作成や解氷、森林観測等、多くの場面で活用されている。ALOSは同スペックの衛星(SPOT等)に比べ、位置精度が高く、3次元データ解析に優れており、1/2万5000を始めとする中縮尺地形図作成のためのデータとしての活用にも優れている。またその人工衛星画像の価格は、航空写真にくらべ1/30~1/100と安価であり、財源不足のアフリカ諸国で活用できる可能性が高い。

このような背景のもと、ケニア土地省測量局とアフリカ諸国の地形図作成を支援する国際機関である資源開発地図地域センター(RCMRD)からの共同提案で、ALOSを利用した地形図作成技術に関する第三国研修を我が国の協力実績を有するケニア測量地図学院(Kenya Institute of Survey and Mapping; KISM)で実施したいとの要請がなされた。

この第三国研修では、南々協力の一環としてKISMがカウンターパート(C/P)機関となり、アフリカ諸国の測量技術者60名(各年度15名程度)を対象にALOSを利用した地形図作成の研修を、2011年10月から2015年3月までの協力期間に実施するもので、本年度が協力最終年にあたり、今回の実施を以って協力が終了する。KISMは1998年以降、GPS、GIS、アフリカ測地系構築、リモートセンシング地図作成等の第三国研修を実施し、東南部アフリカ諸国より多くの研修員を受け入れており、今回の研修もその後継をなすものである。

本専門家は、協力開始以来第3回目にあたる本年度の研修実施(2014年8月中旬~2014年8月下旬)に際し、KISMに対し研修内容に係る助言を行うとともに、ケニア国側講師と協力して講義及び実習指導を行うものである。

なお、同時期にKISMにて実施される「GIS応用セミナー」は並行して実施されるものであり、研修参加者は異なる。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、C/Pとともに、カリキュラム作成、研修内容を検討し、C/PであるKISM講師とともに、東南部アフリカ諸国(タンザニア、ウガンダ、マラウイ、ボツワナ、エチオピア、モーリシャス、セイシェル、ナミビア、コモロ、レソト、スワジランド、ザンビア、ルワンダ、ブルンジ、スーダン、ジンバブエ、モザンビーク、ケニア)から約20名の測量技術者を対象にALOS利用による地形図作成についての第三国研修実施を支援する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### [地形図作成在外研修講師]

#### (1) 国内準備期間(2014年8月上旬)

ア 写真測量に関するC/P機関の経験及びこれまでの本研修における課題・提言等を踏まえ、講義カリキュラム(案)の作成と日本人専門家の研修への関わり方について整理する。

イ C/P機関への協力、昨年度の本件の専門家業務完了報告書をはじめ、過去の第三国研修の結果を収集・分析し、業務計画書(和文・英文)を作成し、JICA経済基盤開発部に提出し、説明する。

#### (2) 現地派遣期間(2014年8月中旬~2014年8月下旬)

ア JICAケニア事務所、C/P機関に業務計画書を説明の上、作成した業務計画書の内容について確認する。

イ 2014年度の講義用テキストを作成する。

ウ C/P機関の講師に対して講義、実習内容について助言を行う。

エ 各国測量局の研修生に対して、C/P機関が最終化したカリキュラムの中で、以下の項目について適切な講義及びフィールドワークによる技術指導を実施する。

(ア) ALOS利用による地形図データの特徴、成果品の講義(2時間)

- (イ) 現地実習(4日間)
    - a 衛星画像の現地での突合による地物や地形の確認、画像には写らない行政界、地名、建物の用途等の現地確認
    - b 地物や地形が画像でどのように映っているかの判読カード作成
  - (ウ) 現地実習結果のレビュー(3.5時間)
    - オ 指導結果を分析し、C/P機関とともに講義内容の改善点やJICA協力終了後の次年度以降、KISMIにて独自に研修を実施していくための方策に関する協議を行い、現地業務結果報告書(英文)を作成し、JICAケニア事務所、C/P機関に提出・報告する。
- (3) 帰国後整理期間(2012年9月上旬)  
専門家業務完了報告書(和文)を作成し、JICA経済基盤開発部へ提出、報告を行う。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。このうち、本契約の成果品は(3)専門家業務完了報告書とする。

- (1) 業務実施計画書
  - 和文2部(JICAケニア事務所、JICA経済基盤開発部)
  - 英文3部(C/P機関、JICAケニア事務所、JICA経済基盤開発部)
- (2) 現地業務結果報告書
  - 英文3部(C/P機関、JICAケニア事務所、JICA経済基盤開発部)
- (3) 専門家業務完了報告書
  - 和文2部(JICAケニア事務所、JICA経済基盤開発部)

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
  - 航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます(見積書に計上して下さい)。
  - 航空経路は、ドーハ/ドバイ経由を標準とします。
- (2) 一般業務費
  - 契約に含みません(見積りには計上しないでください)。
- (3) 機材費
  - 契約に含みません(見積りには計上しないでください)。

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

- ①現地業務日程

現地派遣期間は2014年8月9日～2014年8月31日を予定していますが、ある程度の日程調整は可能です。

- ②便宜供与内容

事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
  - あり
- イ) 宿舍手配
  - あり

- ウ) 車両借上げ  
なし
- エ) 通訳備上  
なし
- オ) 現地日程のアレンジ  
事務所が必要に応じアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供  
実施機関内オフィス内の執務スペース提供

**(2) 参考資料**

2012年度研修資料

**(3) その他**

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度です。そのため、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上